

高知県地球温暖化防止県民会議

高知県では、温室効果ガスの排出量を1990年と比べて6%削減することを目標に掲げて取り組んでいます。県民が一体となって温暖化防止を進めるため、「高知県地球温暖化防止県民会議」が平成20年9月に設立されました。企業やNPOなど計241団体（平成21年10月1日現在）が参加しています。

地球温暖化対策は、県民一人ひとりが日常生活の場で、できることからコツコツと継続して取り組むことはもとより、県民、事業者、行政が一体となって協働により広く進めていくことが必要です。

県民みんなのできることから始めよう！地球温暖化防止

公共交通利用
事業者の取組
環境学習
太陽光パネル
省エネ家電
マイバック持参
家庭の取組
エコカー・エコドライブ
森林整備
冷暖房温度
暖房20℃
冷房28℃

県民会議の活動

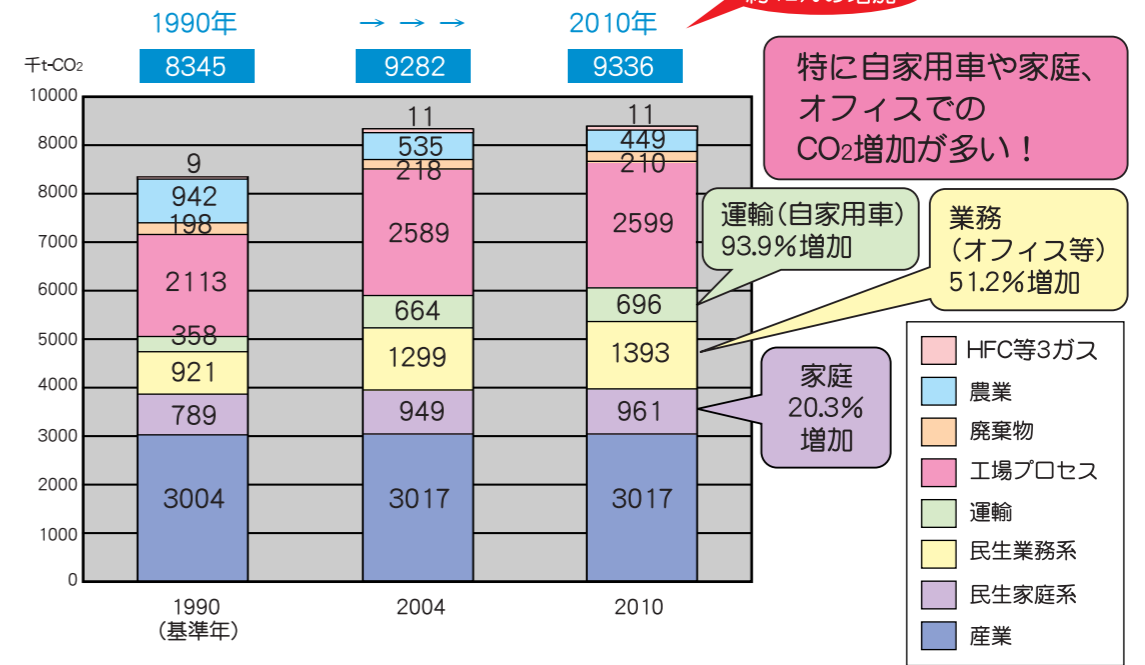
- ① 県民や事業者が連携し 取り組む具体的活動を提案
- ② 会員は自らが率先行動
- ③ 県民総参加の運動を推進

実現

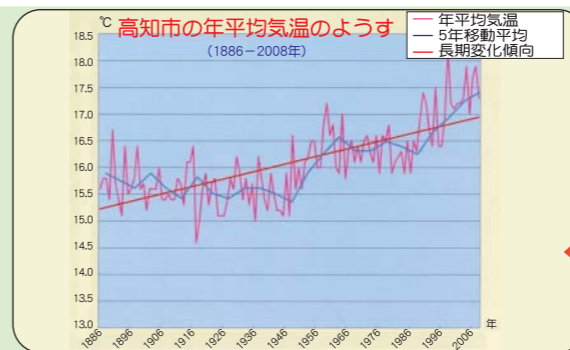
環境への負荷の少ない 持続的発展が可能な 低炭素社会

高知県の温室効果ガス排出状況

高知県の温室効果ガス排出状況は1990年(基準年)比で、2010年には約12%の増加となると推計されます。県の削減目標を達成するためには、2010(平成21)年の排出を基準年比で17.9%、1,492千t-CO₂削減することが必要です。地球温暖化の原因の1つであるCO₂(二酸化炭素)を削減するため、家庭生活や事業所の業務のあり方を見直す必要があります。



高知市の平均気温の変化 明らかに上昇！



1898年からの10年間の年平均気温と2008年までの同気温を比べると約1.8℃上昇しています。

世界の平均気温は、この100年間(1906年~2005年)で0.74℃上昇したとされています。また、日本の平均気温(17観測地点の平均)も、長期的には100年当たり1.07℃の割合で上昇しており、特に1990年代以降、高温となる都市が頻出しています。

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の報告書では、「20世紀半ば以降に観測された世界平均気温の上昇のほとんどは、人為起源の温室効果ガスの増加によってもたらされた可能性がかなり高い(可能性が90%以上である)」としています。



人間の体温に置き換えると... 36度5分の人が38度3分となります！

温暖化の影響？

サンゴの白化
水温が上昇するとサンゴの体内で共生している藻を体外に放出し、サンゴが死んでしまう現象

お米の白濁化
夏場の高温が原因で、でんぷんがお米につきまらなくなるため、透明のお米が白くにごる症状

新高梨のみつ症化
夏場の高温等が原因で果肉が水浸状になり、食感や日持ちが悪くなる症状

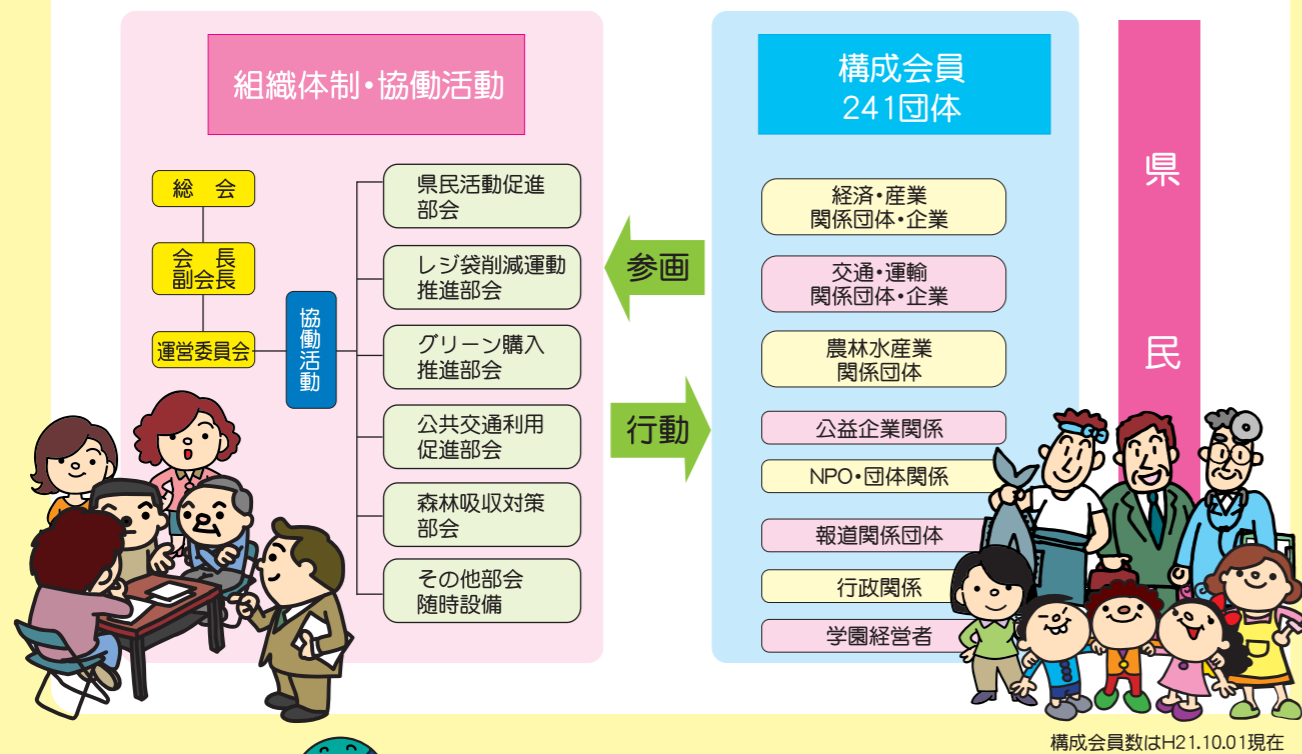
県民会議への参加団体を募集しています。くわしくは事務局にお問い合わせください。

- 問い合わせ** 事務局 〒780-0935 高知市旭町三丁目115番地こうち男女共同参画センター3階
高知県地球温暖化防止活動推進センター内高知県地球温暖化防止県民会議事務局
TEL:088-822-5554 FAX:088-802-2205 E-mail:center@ecolabo-kochi.jp
- 県** 高知県環境共生課(温暖化対策担当) TEL 088-821-4841
- ホームページ** URL <http://npo-kankyonomori.com/kenminkaigi/>

高知県地球温暖化防止県民会議の組織

県民会議には、総会、運営委員会、部会を設けています。
 総会では、規約、役員を選任、事業計画の決定や事業報告の承認ほか、県民会議の運営に関する重要な事項を決定します。
 運営委員会は、県民会議の運営に関して必要な事項を協議・調整し、また、これを運営しています。
 部会は、県民会議の事業を円滑に推進するためにCO₂削減につながる具体的な行動を提案しています。
 県民会議には、設立時に5つの部会が設けられ、それぞれの部会が目標に向けて自主的な取組を進めています。

高知県地球温暖化防止県民会議



私たちは、この地球が大好きです！

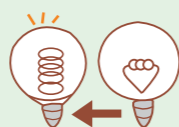
部会

県民活動推進部会

家庭での省エネ活動などの取組を広めていきます。
 また、事業者の省エネの推進を応援していきます。



- 白熱電球を省エネ電球（電球型蛍光灯）へ取り替えてみませんか。
 電球の寿命は約6倍に伸び、消費電力とCO₂排出量は約5分の1になります。



大川村まるごと！省エネ電球取り換え大作戦は、県民会議で提案された事業計画をもとに、大川村主催で全家庭に対して行われたものです。（H21年10月10日と11日）



レジ袋削減運動推進部会

レジ袋の利用削減に取り組みます。量販店で80%削減、県全体で50%削減が目標です。



ecoバッグを持ったくろしおくんのキャラクターを啓発用に作成



- 買い物にはマイバッグや買い物袋を持参し、レジ袋をもらわない。
 県民1人が1年間にもらうレジ袋は約300枚にもなります。レジ袋をマイバッグに替えると、CO₂排出量を1人当たり約18kg削減できます。



グリーン購入推進部会

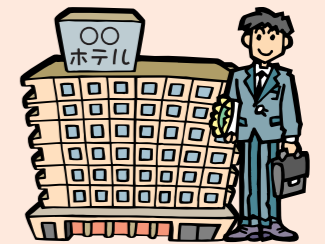
環境に優しい商品やサービスの利用を県内に広めていきます。



- 家電製品を買い替えるときは、省エネ性能が4つ星以上の製品を選んでみてください。
 省エネ性能が高い製品を選ぶと電気代にも大きな差が出ます。



「エコホテル（エコサービスの一つ）」の周知促進
 長期滞在利用者のシーツ交換・トラベルグッズの提供の簡略化等



公共交通利用促進部会

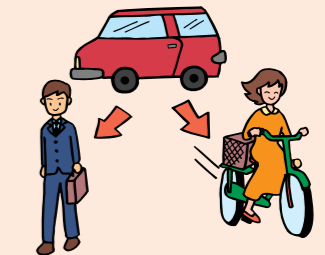
CO₂排出量の少ない交通機関がより一層利用されるよう啓発していきます。



- 通勤やおでかけには、電車やバスなどの公共交通を利用しましょう。
 自家用車ではなく、電車やバスなどを使うことがCO₂削減につながります。



エコ通勤ウィークの取組
 通勤通学時に、自家用車の利用を控えて公共交通機関を利用したり、自転車や徒歩などにかえる取組のキャンペーン
 （H21年11月15日～21日の7日間）



森林吸収対策部会

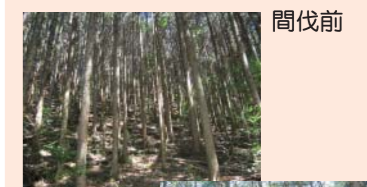
CO₂吸収量が大きくなるよう、森林の間伐を進めていきます。



- 森林の間伐を進める作業を応援しよう。
 1世帯が1年間に排出するCO₂量は、樹齢50年のスギ460本が1年間に呼吸するCO₂量に相当します。間伐が行われることで木が成長し、CO₂吸収の増加につながります。また、日が射して地面に植物が繁り、保水力や生物の多様性も高まります。



放置された森林の間伐



間伐後のCO₂吸収量の高まった森